

令和4年度 保土ヶ谷区社会福祉協議会 事業報告書

1.住民による地域福祉活動の支援

(1) 身近な地域での「つながり・支え合い活動」の推進

①総合相談

地域の方の多種多様な相談を関係機関へつなぐなどにより解決を図った。

- ・孤独による将来不安、近隣の対応、親族間の仲裁など 5件

②食支援を通じた自立に向けた支援

食支援依頼者の生活上の課題を聞き取り、関係機関と連携して解決を図った。

- ・コロナ禍で雇用情勢の悪化等により、生活困窮となった障がい者や母子家庭等への食支援延べ182件
- ・区子ども家庭支援課・生活支援課とで、食支援対象者の共有と支援方針の確認を行った。

③地域食堂実施団体への支援

子ども食堂やみんなの食堂を実施している団体の活動を支援した。

- ・みんなde食堂懇談会の開催 9月6日(火) および3月2日(木)
- ・「みんなde食堂」のぼり旗の作製、配付
- ・「みんなde食堂」紹介カードによる地域食堂の周知
- ・区内企業等の協力により提供された食材や物品の配分

(2) 地区社会福祉協議会活動の支援

地区社会福祉協議会活動への助成

地区社会福祉協議会の運営および活動の推進のために助成金を交付した。

①地区社協活動運営費(市社協補助金を活用)

50,000円×22地区 計1,100,000円

②地区社協助成金

230,000円×22地区 計5,060,000円

③世帯賛助会費の還元金(詳細はP20(別表1))

総額6,950,000円

地区の賛助会費実績の60%を地区社協に還元した。

地区社協運営・事業支援

地区担当制により、職員が運営支援や研修・事業実施の支援を行った。

地区社会福祉協議会分科会(会長・事務局長合同会議)

①実施日:5月27日(金) 出席者:41名

内 容:・令和4年度保土ヶ谷区社会福祉協議会事業計画について

- ・令和4年度地区社協分科会等の進め方について
- ・第4期ほっとなまちづくりについて
- ・意見交換「令和4年度の地区社協取組状況について」 ほか

②実施日:9月28日(水) 出席者:37名

内 容:・ほっとなまちづくりフォーラム 第39回保土ヶ谷区社会福祉大会 について

- ・ほっとなまちづくり地区別計画振返りについて
- ・令和4年度保土ヶ谷区社会福祉協議会世帯賛助会費の募集について
- ・研修会「よこはまの地区社協全体会2021-2022」 ほか

③実施日:11月22日(火) 出席者:37名

内 容:・地区社協のてびきについて(ミニ研修会)

- ・保土ヶ谷区アクションプランについて
- ・令和4年度地区社協助成金・補助金について
- ・地区の取組事例紹介・グループワーク「コロナ禍で工夫して取り組んだ活動」 ほか

④実施日:3月9日(木) 出席者:45名

内 容:・保土ヶ谷区社協の次期役員等候補者の選出について

- ・令和5年度地区社協への助成金について
- ・地区社協状況書作成に伴うヒアリングについて
- ・情報交換・グループワーク「地域活動の仲間を見つける、理解者を増やす」ほか

(3) 小地域支援活動

第4期保土ヶ谷区地域福祉保健計画の推進

- ①地区社協助成金（再掲）
230,000円×22地区 計5,060,000円
- ②地区社協活動への参画・支援
定例会、総会および各種会議や事業等に参加し、状況把握と活動等への支援を行った。
- ③地区別計画の推進支援
区役所、地域ケアプラザと地区支援チームを構成し、連携し地区支援を行った。
- ④第4期ほとなまちづくりスタートアップ研修「地域における見守り体制づくりの進め方」開催
実施日：7月6日（水）および7月22日（金）13：30～16：30（全2日）
内 容：講演およびグループワーク
講 師：金井 敏氏（高崎健康福祉大学健康福祉学部教授）
参加者：56名（地区社協関係者：37名/地区支援チームほか19名）
- ⑤ほとなまちづくりフォーラム～第39回保土ヶ谷区社会福祉大会～
実施日：12月3日（土）13：30～16：00
内 容：（1）活動発表：①岩井町原地区社協「ワクワクいわい健康マップ」
②上新地区社協「新井町まっぴ」
（2）講 話：「みんなで進めるほとなまちづくり」
コメンテーター：共育ひろば主宰 牧岡英夫氏
- ⑥区全域計画の推進
区役所との共同事務局として、計画の推進に向け取り組んだ。
 - ・ほとなまちづくり推進会議（年2回）
第1回：6月15日（水） 各団体の取組状況報告、グループワーク
第2回：2月13日（月） 計画テーマにつながる取組の共有
 - ・新任地区支援チーム研修、地区リーダー研修・会議等の開催

生活支援体制整備事業の推進

- ①横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた保土ヶ谷区アクションプランの推進
 - ・生活支援体制整備事務局会議（12回）、その他区との打合せ（適宜）
 - ・横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業（サービスB）活動団体へ区・地域ケアプラザと連携支援
 - ・民間企業との見守り連携について、区域での検討・協議
 - ・星川郵便局長・星川商店会会長と地域の見守りに係る意見交換
- ②2層生活支援コーディネーター支援
 - ・コーディネーター連絡会の開催 毎月1回（別掲）
 - ・2層生活支援コーディネーターヒアリング、個別相談対応など 随時
 - ・2層協議体への出席
- ③令和4年度 “通いの場” グループ活動研修会開催「改めて考えよう 通いの場という活動の意味」
実施日：5月18日（水）13：30～15：30
対 象：地域での「通いの場」活動団体および活動等に興味がある方
内 容：活動継続や活性化に向けた講義
講 師：公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員 澤岡詩野氏
- ④第4期区ほとなまちづくりスタートアップ研修「地域における見守り体制づくりの進め方」（再掲）
実施日：7月6日（水）および7月22日（金）13：30～16：30（全2日）
内 容：講演およびグループワーク
講 師：金井 敏氏（高崎健康福祉大学健康福祉学部教授）
参加者：56名（地区社協関係者：37名/地区支援チームほか19名）

	<p>⑤区域の各種会議への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター全体会 ・多職種連携代表者会 <p>⑥市域の各種会議への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市生活支援体制整備推進会議（年10回） ・第1層コーディネーター連絡会（年12回） ・第1層コーディネーター情報連絡会（年3回）
	<p>地域ケアプラザとの連携</p> <p>地域ケアプラザと連携し、小地域支援を行った。</p> <p>①地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーター連絡会（計12回）</p> <p>情報交換、地域交流研究部会の連絡調整、各ケアプラザの地域交流事業の報告等</p> <p>実施日：4月13日（水） 5月11日（水） 6月 8日（水） 7月13日（水） 8月10日（水） 9月14日（水） 10月12日（水） 11月 9日（水） 12月14日（水） 1月11日（水） 2月 8日（水） 3月 8日（水）</p> <p>②地域交流コーディネータースキルアップ研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティコーピング ・チェックイン・チェックアウトカードの使い方 ・ホワイトボードミーティング ・Cx3BOOSTER 研修 ・福祉避難所研修 ・障がい研修 <p>③他機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内スクールソーシャルワーカーとの情報交換会 ・ほどがや市民活動センターアワーズとの情報交換会 ・保土ケ谷区生活支援センターとの情報交換会 ・港南区地域活動交流コーディネーターとの交流会 <p>④地域ケアプラザ生活支援コーディネーター連絡会（計12回）</p> <p>実施日：4月18日（月） 5月 6日（金） 6月 3日（金） 7月 1日（金） 8月 5日（金） 9月 2日（金） 10月 7日（金） 11月 4日（金） 12月19日（月） 1月 6日（金） 2月 3日（金） 3月 3日（金）</p> <p>内 容：保土ケ谷区アクションプランの取組状況振返り、Ayamu公開に向けた検討・準備、 企業との見守り連携に向けての検討、市推進会議等報告、その他情報共有など</p> <p>⑤包括支援センターとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括ミーティングへの出席 ・個別ケース地域ケア会議、包括エリア地域ケア会議への出席

(4) 財源の確保・財政基盤の強化

保土ケ谷区ふれあい助成金

地域福祉の推進を図るため、市社協基金（よこはまあいあい基金、障害者年記念基金）および善意銀行、保土ケ谷区社協財源（共同募金配分金、年末たすけあい募金配分金、日本赤十字社、世帯賛助会費、福祉基金）を財源に保土ケ谷区ふれあい助成金事業を実施した。

配分審査会実施日：6月20日(月)

助成決定内容 ※詳細別掲（P22：別表3）

区分		団体数	金額（円）
I 要 援 護 者 支 援 区 分	1) 集いの場活動	A	7件 1,530,000
		B	1件 300,000
		C	0件 0
		D	20件 1,570,000
		E	40件 3,000,000
		F	26件 1,220,000
	2) 家事・生活支援活動	A	3件 730,000
		B	0件 0
		C	1件 90,000
		D	3件 180,000
		E	1件 50,000
	3) 配食活動	A	0件 0
		B	1件 95,000
		C	0件 0
		D	3件 325,000
		E	5件 370,000
		F	0件 0
	4) 送迎活動	A	1件 350,000
		B	2件 500,000
		C	1件 200,000
	II 障 害 児 者 支 援 区 分	1) 障害児者支援・当事者活動	A
B			0件 0
C			0件 0
D			1件 60,000
E			2件 80,000
2) 宿泊・日帰りハイク事業		A	4件 200,000
3) 視覚・聴覚障害者支援		A	5件 250,000
III 福 祉 の ま ち づ く り 区 分		A	20件 780,000
	B	3件 90,000	
IV 健 康 増 進 区 分	A	2件 20,000	
新規事業立ち上げ資金※		4件	160,000
合計		156件	12,150,000

(5) ボランティアセンターの運営

ボランティアコーディネーターの配置

ボランティアに関する相談・コーディネート業務の充実を図るため、ボランティアコーディネーターを非常勤職員として雇用し対応した。

ボランティアコーディネーター：2名

配置時間：月曜～土曜（9：00～17：00）

ボランティア相談の実施

ボランティアをしたい人・してほしい人の相談を受け、ボランティアの登録およびボランティアの紹介を行った。

【ボランティア登録者】

グループ：62団体、新規登録：7団体

個人：275名、新規登録：42名

【ボランティア依頼・対応】

分類		依頼件数	対応件数	調整中	調整つかず	取り下げ	対応人数	調整数
児 童	単発	2	2	0	0	0	2	10
	継続	7	6	1	0	0	15	56
障がい	単発	10	8	1	0	1	36	23
	継続	15	8	6	0	1	16	48
高齢者	単発	24	17	5	0	2	248	77
	継続	11	5	4	1	1	8	36
外国人	単発	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0
限定せず	単発	2	2	0	0	0	1	1
	継続	2	2	0	0	0	0	9
その他	単発	2	2	0	0	0	2	2
	継続	4	2	1	0	1	4	8
合 計	単発	40	31	6	0	3	289	113
	継続	39	23	12	1	3	43	157
	合計	79	54	18	1	6	332	270

保土ケ谷区災害ボランティアネットワーク

災害に備えてボランティア団体および地域防災拠点関係者などが、平常時から交流をすることで連携の充実を図ることを目的とし、研修および訓練等を行った。（区役所と共同事務局）

〈総会〉

実施日：5月29日（日）10:00～11:00 公会堂1号会議室

参加者：出席16名 委任状66名（団体会員・個人会員・地域防災拠点関係者等）

内 容：令和3年度活動報告および収支決算報告について

会計監査報告

令和4年度活動計画（案）および収支予算（案）について

〈運営委員会〉 計4回

実施日： 4月25日（月） 7月22日（金） 9月13日（火） 12月16日（金）

〈防災・減災に関連する講座の実施〉

地域が開催する防災講習会に赴き、区災害ボランティアネットワークの活動をPRするとともに

防災・減災活動の啓発を実施した。 計1回17名参加

〈防災ウォークの実施〉

(1) 実施日時：3月11日（土） 10:00～

(2) 内 容：危険個所の確認を行った。また、車いす利用者の避難を想定し、障害物などの確認を行った。

【ウォークルート】

かるがも → 国道16号を渡る → 鎌谷町 → てっぺん山会館 → かるがも

〈ほどがや区民まつりへの参加〉

パネル展示、ペット同行避難に関するグッズを通して防災・減災活動の啓発を実施した。

〈災害・防災講座の実施〉

運営委員による災害、防災に関する講演を行い、区災害ボランティアネットワークの活動PRとともに防災・減災活動の啓発を実施した。

〈部会〉

(1) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

実施日：11月13日（日）

内 容：災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施

参加者 災ボラ運営委員6名 防災拠点6名 会員その他5名 区子ども家庭支援課2名・総務課2名

(2) 広報部会

定期的にホームページを更新。地域の防災に関するイベントや防災コラムなどを掲載し、防災に関する周知活動を行った。

2.福祉の担い手の発掘・育成

(1) ボランティア講座等の開催

季節飾りボランティア

区内在住者を対象に、コロナ禍におけるボランティア活動のきっかけとして実施。

(内容)

- ・夏の季節飾りを希望した7施設に対し、拠点や自宅で飾りを作成し、送付。
- ・かるがも20周年フェスティバル(11月13日開催)にて展示用作品と来場者プレゼントを作成。

実施日：4月14日(木) 4月27日(水) 5月12日(木) 5月24日(火)
6月9日(木) 6月22日(水) 10月6日(木) 10月20日(木)

参加者：32名

ボランティア入門講座「ミュージック脳トレ初心者コース」

認知症予防方法の一つであるミュージック脳トレを知っていただき、地域のサロンや施設等、高齢者分野でボランティアを希望する方の活動につながるきっかけとして、また現に活動をしている方が技術を習得することで活動を発展させられることを目的に実施。

実施日：10月13日(木) 10月27日(木) 11月10日(木)
11月24日(木) 12月1日(木)

参加者：12名

音訳ボランティア入門講座

視覚障がい者のために本や雑誌等を朗読・録音した音声をCDにして提供するボランティアを養成し、視覚障がい者福祉に関する啓発とボランティア活動を推進するために実施。

実施日：11月10日(木) 11月17日(木) 11月24日(木) 12月1日(木)

参加者：10名

ボランティア講座「ミュージック脳トレ指導者養成コース」

認知症予防方法の一つであるミュージック脳トレを知っていただき、地域のサロンや施設等、高齢者分野でボランティアを希望する方の活動につながるきっかけとして、また現に活動をしている方が技術を習得することで活動を発展させられることを目的に、秋の初心者コースに続けて指導者養成コースを実施。

実施日：1月12日(木) 1月26日(木) 2月9日(木) 2月23日(木)
3月9日(木) 3月23日(木)

参加者：8名

「まちの子」育て応援講座

子育て支援に関わる担い手を増やすということや、まちの中で子育てに関心を持ち、親子の成長を温かく見守り、支えてくれる人材を増やしていくために実施。

実施日：2月4日(土)
2月6日(月)～3月10日(金)までの間にボランティア活動
3月11日(土)

参加者：8名

(2) 地域活動への参加の呼びかけや促すための情報発信

広報紙「社協ほどがや」第50号の発行

本会の事業紹介や地域福祉に関わる特集テーマを通じて福祉の普及を目的とし、広報紙を発行した。

- 9月発行 部数：83,000部（全戸配布）
- 第4期保土ヶ谷ほとなまちづくり(地域福祉保健計画)の推進に向けて、地区社協の活動を紹介。
【上新地区、保土ヶ谷中地区、川島東部地区、岩井町原地区】
- 区社協からのお知らせ（ボランティアセンター、善意銀行、食支援等）
- 共同募金会保土ヶ谷区支会、日本赤十字社保土ヶ谷区地区からのお知らせ



「ボラセンだより」の発行

ボランティア登録者、ボランティアセンター来館者およびボランティア依頼者に対し情報提供を行った。

発行回数：2回（冬号12月・春号3月）
発行部数：冬900部、春1,500部



ボランティアセンター公式Instagramの開設

幅広い年齢層へのボランティアに関する周知啓発のためにInstagramを開設し、情報発信を行った。



(3) 学校における福祉教育の推進

福祉教育推進事業

学校等からの福祉教育の取組依頼に対して、情報提供や講師調整などの支援を実施した。学校からの依頼件数は前年度と同水準で推移し、多くの学校で福祉教育の授業を実施することができた。また、多くの団体の協力により、今までの枠にとらわれない多種多様な内容での実施につながった。

内容：障がい当事者や親の会による障がい理解に関する講演や“地域を知ろう”をテーマに民生委員・児童委員や自治会の方よりお話をいただいた。

実施回数：小学校	(20校)	20日	31コマ	延べ参加者数	2,429名
中学校	(1校)	1日	1コマ	延べ参加者数	25名
高等学校	(1校)	1日	1コマ	延べ参加者数	326名

「福祉教育ニュース」の発行

時期：3月発行
部数：500部 区内小中学校・関係機関等へ配布
内容：福祉教育の基本的な考え方、福祉教育体験プログラムの実践事例紹介、令和4年度学校等における福祉教育実施一覧、福祉教育実施までの流れ



(4) 福祉意識の啓発

ほっとなまちづくりフォーラム 第39回保土ヶ谷区社会福祉大会

実施日：12月3日（土）

場 所：保土ヶ谷公会堂 参加者：337名

共 催：区役所

内 容：

- 社会福祉功績者表彰式典
地域福祉活動に尽力された方々に対する表彰の実施。
自立支援活動功労5名・1団体、金品寄贈功労4名・1団体、特別功労1名
- 活動発表
【岩井町原地区】『ワクワクいわい健康マップ』～健康づくりを目指して～
【上新地区】『新井町まっぴ』
- コメンテーター講話 「みんなで進めるほっとなまちづくり」
講 師 牧岡 英夫 氏（「共育ひろば」主宰）
- 福祉バザーと福祉作品展

(5) 企業等の社会貢献活動の支援

クリスマスケーキの配分

善意銀行にケーキ100個の寄託を受け、地域作業所等へ配分した。

実施日：12月23日（金）

配分先：児童福祉施設等5か所、障害者地域作業所等26か所

寄付者：匿名（寄付者の意向による）

3.支援を必要とする人への自立・生活支援

(1) 障がい者の自立支援

保土ケ谷区地域自立支援協議会

障害者総合支援法に位置付けられ、地域の関係機関と連携し、情報を共有しネットワークを構築することを目的としている会議に、事務局のメンバーとして参画した。自立支援協議会は9つの部会で構成されており、区社協は防災部会、当事者部会、こども余暇部会、精神ネット部会及び事務局に参画した。

【全体会】

保土ケ谷公会堂講堂での対面とオンラインでの参加による開催となった。

日 時：6月30日（木）

内 容：①令和3年度部会報告・令和4年度実施概要
②自立支援協議会について
③区の取り組み（アウトリーチ事業）経過報告

【事務局会議】

計12回開催。事務局・部会運営について検討、ホームページの運用、「福祉のお仕事フェア」の実施検討、相鉄線星川駅での自主製品販売検討、3機関連絡会（区役所・区基幹相談支援センター・区生活支援センター）の報告等を行った。

【防災部会】

被災地障害者災害支援センターの立上げや事務局体制、課題等について検討した。

【当事者部会】

ボランティア分科会との共催で、区民祭りでポッチャ体験会を実施。また、障害者週間キャンペーンを実施。

【こども部会】

例年、地域ケアプラザや障がい者施設、養護学校とともに、障がい児余暇支援事業等を行っており、今年度は障がい児余暇支援事業として2回開催した。

【精神ネット部会】

精神障がい者が安心して暮らしていくことのできる地域を目指し、関係機関同士のつながりづくりや生活課題の解決等に向けた事例検討や協議などを進めた。（区精神net）
また、アウトリーチ事業における連携等を進めた。（保土ケ谷区のアウトリーチを考える会）

各種施設運営協議会等への参加

地域活動ホーム、地域活動支援センター、地域作業所、地域療育センター、はまっ子ふれあいスクール、区内地域ケアプラザの運営協議会等に主に書面で参加して連携強化に努めた。

保土ケ谷区障害者地域作業所連絡会への参加

保土ケ谷区障害者地域作業所連絡会（区作連）の全体会・事務局会議に出席した。

(2) 外出支援サービス事業

市外出支援サービス事業の実施

公共交通機関での外出が困難な高齢者を対象に、横浜市委託事業としてタクシー事業者の運行による送迎サービスを実施。

1.事業実施状況

利用登録者：61名 利用件数：64件

（内訳）	目 的	市外出支援サービス
	医療機関	64
	福祉サービス	0
	行政手続き	0
	合 計	64

(3) 権利擁護事業

区内の高齢者・障がい者を対象に、権利擁護に関わる相談を受け付けるとともに、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービス、財産関係書類等預かりサービスを契約に基づいて提供した。

1. 相談件数：42件

(内訳)	対象者種別	件数
	知的障がい者	3
	精神障がい者	7
	身体障がい者	4
	高齢・認知症	3
	高齢・その他(認知症以外)	22
	その他	3
	合計	42

2. 契約件数：81件

サービス内容	件数
福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス	65
財産関係書類等預かりサービス	16
合計	81

※4年度新規契約者数：15名 契約終了者数：8名

出張説明

権利擁護事業について関係機関からの要請により、出張説明を行った。

実施日	対象	実施場所
9月15日(木)	新任・就労予定ケアマネジャー	星川地域ケアプラザ

地域包括支援センター連絡会(社会福祉士分科会)

毎月開催の地域包括支援センター連絡会(社会福祉士分科会)に参加し、権利擁護事業に関する情報交換および事例検討、サポートネット等各種研修会開催のための打ち合わせを行った。

成年後見サポートネット

1. 市民後見サポートネット

保土ケ谷区の市民後見人バンク登録者を対象に、市民後見人の支援を目的として事例検討を実施した。

11月18日(金) 場 所：保土ケ谷区福祉保健活動拠点

1月30日(月) 場 所：南区役所

2月16日(木) 場 所：西区福祉保健活動拠点

参加者：市民後見人バンク登録者、専門職講師、地域包括支援センター職員

区高齢・障害支援課高齢者支援担当職員など

2. サポートネット全体会・専門職会議

各相談機関のネットワークづくりおよび専門職のスキルアップを目的とした成年後見サポートネット全体会・専門職会議へ参加し、権利擁護が必要な困難事例や課題の検討を行った。

6月16日(木) 場 所：保土ケ谷区役所 ※専門職会議のみ

12月15日(木) 場 所：保土ケ谷区役所

3月 8日(水) 場 所：保土ケ谷区役所 ※専門職会議のみ

参加者：市民後見人バンク登録者、専門職講師、地域包括支援センター職員

区高齢・障害支援課高齢者支援担当職員、基幹相談支援センター

(4) 障がい児余暇支援事業

障がい児余暇支援事業「ほっとフレンズ」

区内地域ケアプラザ・関係機関と相互に協力し実施した。

ほっとフレンズ2022夏

実施日： 7月31日（日）10：00～12：00

場 所：星川地域ケアプラザ 参加親子：5組 内容：ボッチャ体験、太鼓の演奏鑑賞

ほっとフレンズ2022春

実施日： 3月26日（日）10：00～12：00

場所：岩間市民プラザ 参加親子：6組 内容：ボッチャ体験、打楽器グループの演奏鑑賞

(5) 移動情報センター事業

障がいのある方のための外出相談窓口として、相談の受付、ヘルパー事業所等の情報収集、ボランティアの育成を行った。

相談窓口での相談調整

障がいのある方本人や家族からの相談を受け、外出の目的や行き先などニーズにあわせた相談や情報提供を行った。

相談件数：152件

(内訳)	対象者種別	件数
	身体障がい	45
	知的障がい	79
	精神障がい	11
	重複障がい	11
	その他（高齢者含む）	6
	合計	152

ガイドボランティア茶話会・研修交流会の実施

1人で活動することが多いガイドボランティアが他のガイドボランティアと交流することを目的に、ガイドボランティア茶話会を実施した。

また、ガイドボランティアを対象に区内障害者施設の見学と障害理解講座を開催した。

ガイドボランティア茶話会 日時 8月 3日（水）参加者14名

2月15日（水）参加者 5名

ガイドボランティア研修交流会 日時 10月19日（水）

場所 偕恵いわまワークス

講師 偕恵いわまワークス施設長 野田 弥寿人 氏

おたのしみ交流会（利用者・家族とガイドボランティアの交流会）の実施

18歳未満の利用者・家族とガイドボランティアが交流を深めるために企画した。

一般社団法人ヨコハマ・インクル・ボッチャ・ラボ 岩村宇博氏を講師に招き、ボッチャを行った。

ゲームをしながら交流したことで、今後のマッチングにつながる機会ともなった。

実施日：3月21日（火・祝） 参加者：15名

場 所：保土ヶ谷区福祉保健活動拠点 多目的研修室

講 師：一般社団法人ヨコハマ・インクル・ボッチャ・ラボ 岩村 宇博 氏

推進会議の開催

移動情報センターの各業務の推進について、関係機関の方から意見をいただく推進会議を定期的に行なった。

第1回 6月29日（水） 出席者：23名

第2回 10月26日（水） 出席者：10名

上菅田特別支援学校教員、PTAの方々と移動に関する課題について情報交換を行った。

第3回 3月 3日（金） 出席者：19名

第2回の報告を踏まえて、各推進委員より意見をいただいた。

事業者連絡会の開催

相鉄沿線4区合同で事業者向け研修会をおこなった
 実施日：11月21日（月） 保土ヶ谷区内参加：3名
 場 所：せやまる・ふれあい館（横浜市瀬谷区福祉保健活動拠点パートナーせや）
 また今後の事業者連絡会について区内事業所代表と検討をおこなった。



広報紙「いこうyaほどがya」の発行

移動情報センターの事業紹介やガイドボランティア募集等を目的に発行。区内小中学校や関係機関等へ配布した。
 発行部数：1,500部

(6) 当事者団体等の支援

障がい者週間キャンペーン

「障害者週間」に障がい理解促進のためのキャンペーン活動を実施した。
 実施日：12月6日（火）、12月7日（水）
 場 所：区役所前、イオン天王町店、保土ヶ谷駅
 参加者：当事者団体部会・ボランティア市民活動団体分科会
 ボランティア団体・帷子小学校（3年生・教師）89名 区役所5名
 内 容：啓発用チラシ・ティッシュの配布

(7) 児童福祉の推進

保土ヶ谷区地域子育て支援連絡会

地域で安心して子育てができる環境づくりを推進するため、子育て支援を行っている関係機関等のネットワークを構築するとともに、子育て支援の情報の整理・共有、意識・知識の向上を目指している。

（区役所、保育園、保土ヶ谷区地域子育て支援拠点こっころとの共同事務局）

【全体会】※後日、動画配信も実施

実施日：3月22日（水） 参加者：122名

場 所：保土ヶ谷公会堂

①取組発表

・今井地域ケアプラザエリア（新桜ヶ丘地区社協、新桜ヶ丘地区民生委員・児童委員協議会）

②講演

テーマ：「つながる・ひろがる」 みちあそび ～子ども支援とまちづくりの実践から～

講 師：NPO法人 まち×学生プロジェクトplus 常任理事 原島隆行氏
 六角橋西町自治協力会 浅井信二氏、宮城英記氏

(8) 生活福祉資金貸付事業

相談件数：3,514件

【従来の貸付】

貸付件数：3件 貸付総額：2,435,000円

(内訳)	資金の種類	件数	貸付金額(円)
	福祉資金	1	75,000
	緊急小口資金	0	0
	教育支援資金	2	1,241,000
	不動産担保型生活資金	0	0
	合計	3	1,316,000

【特例貸付】

資金の種類	申請件数
緊急小口	170
総合支援資金	140
合計	310

福祉資金・教育支援資金
低所得者や障がい者世帯、離職者などに対し、民生委員の支援のもとに、自立に必要な資金の貸付、償還指導を行った。 相談件数：563件 貸付件数：3件
不動産担保型生活資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金
不動産があっても現金収入が少ない高齢者世帯に対し、その所有物件を担保に貸付する資金についての相談を行った。 相談件数：55件 貸付件数：0件
緊急小口資金
離職などによって住居を喪失し、生活維持が困難である離職者に対して、公的給付までの期間の生活費の貸付について相談を行った。 相談件数：136件 貸付件数：0件
総合支援資金
失業等により日常生活に困難を抱え、生活の立て直しのために継続的な相談支援と生活費および一時的資金を必要とする世帯に対し相談を行った。 相談件数：232件 貸付件数：0件 ※特例貸付を除く
特例緊急小口資金・特例総合支援資金
コロナウイルス感染症拡大に伴い減収した世帯に対して貸付を実施した。 相談件数：1,343件
生活福祉資金貸付事業民生委員研修
1.民生委員を対象に、生活福祉資金貸付制度についての説明や民生委員への協力依頼および情報交換を目的として実施した。
①実施日：1月20日（金） 場 所：千丸台地区社協活動拠点 民生委員数：10名
②実施日：3月16日（木） 場 所：笹山団地集会所 民生委員数：2名
2.児童支援・生徒指導専任教諭会での説明
1 1月の会議で教育支援資金について案内した。
中学校の進路説明会で、生徒・保護者に向けた教育支援資金の説明
実施日：10月14日（金） 場 所：新井中学校 生徒・保護者数：80名
中学校進路指導教諭との懇談会
実施日：11月30日（水） 場 所：保土ヶ谷中学校
(9) 困窮世帯等への支援
食糧支援
1.生活困窮者への食支援 区生活支援課・こども家庭支援課・児童相談所・地域ケアプラザ等で把握した生活困窮世帯に対し、約1週間程度の食支援を実施。自立するまで複数回実施した家庭も多数あった。(延べ182回)
2.あったかほ도가や寄付による食支援 昨年度取り組んだあったかほ도가や寄付の繰越金を活用し、コロナ禍で生活に困窮しているひとり親家庭や学生に向けた食支援を行った。(繰越額：約670,000円)

(1) ひとり親世帯支援

区こども家庭支援課・西部児童相談所・スクールソーシャルワーカーと連携し、生活に困窮している世帯に、1週間分の食支援を行った。継続して支援が必要な世帯には必要な分の支援を行った。支援世帯数：延べ75世帯

(2) 学生への支援

アルバイトが出来ず、実家にも帰れないような困窮した学生を対象に食支援を行った。横浜国立大学の学生を対象。

協力 横浜国立大学・常盤台連合自治会・常盤台地区社協・常盤台地区民児協

実施日 7月14日 対象人数 161名

3.セブンイレブン・ジャパンと連携し閉店・改装店舗から食料等の物品の寄付を受け区内の福祉施設で活用いただく取組を実施。

物品の配分にあたり西部ユースプラザの協力を得て実施した。また学生への支援に活用された。

食料等預託数：1件

4.区内企業との連携

① 日本ウイナー(株)・(株)ジャンボリア、日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社から食材や食品の寄贈を受け、地域食堂(こども食堂、みんなの食堂等)に配分した。

② 保土ヶ谷公園や特別養護老人ホーム等の防災備蓄物品のうち消費期限が近い物の提供を受けて、食糧支援に活用した。

協力施設：3団体(保土ヶ谷公園・かわしまホーム・横浜エデンの園)

5.フードドライブ

フードドライブの取組について啓発を進め、地域での企画・実施を支援した。

区民会議、地区社協、横浜市資源循環局の協力により、バザーなどのイベント等の事業の協力もあり、地域を主体としたフードドライブが実施された。

いただいた食料の提供件数：個人46件 フードバンク12件

地区社協1件 寺院3件 NPO3件 子育て支援拠点1件 区フードドライブ(区民会議)26件

(10) その他

行旅人など援護事業

区福祉保健センターを通し、行旅人などへ交通費等の援護を行った。

援護費利用人数：5名 援護支出金額 1,980円

小災害見舞金の交付

区内で発生した小災害(火災・風水害・地震等)の被災者に対して見舞金を交付した。

見舞件数:1件、合計5,000円

【内訳】

区分	件数	区社協分単価	見舞金額	備考
全焼(全壊)	0	10,000	0	
半焼(半壊)	1	5,000	5,000	
合計	1		5,000	

4.区社会福祉協議会の組織・体制強化

(敬称略)

(1) 理事会・評議員会・監事監査の開催		
理事会		
実施日 出席者数	主な議題	結果
6月 9日(木) 10名	1.令和3年度事業報告及び収入支出決算(案)について 2.監事候補者の選定について 3.評議員選任候補者の推薦について 4.評議員選任・解任委員会委員の選任について 5.評議員選任・解任委員会の招集について 6.評議員会の招集について	1.原案どおり承認された 2.次のとおり選定された 相原 陽子(千丸台保育園) 3.次のとおり推薦された 金子 強(地域振興課長) 近藤 友和(高齢・障害支援課長) 4.次のとおり選任された 飯島 拓(総務課庶務係長) 5.原案どおり承認された 6.原案どおり承認された
9月 8日(木) 10名	1.補正予算(案)について 2.評議員選任・解任委員会委員の選任について 3.評議員会の招集について	1.原案どおり承認された 2.次のとおり選任された 相原 陽子(千丸台保育園) 3.原案どおり承認された
3月13日(月) 11名	1.令和4年度補正予算(案)について 2.本会保有債券の償還期限前売却について 3.令和5年度事業計画及び予算(案)について 4.保有個人データの開示等の請求に関する規程の一部改正について 5.役員等賠償責任保険契約について 6.評議員会の招集について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり承認された 4.原案どおり承認された 5.原案どおり承認された 6.原案どおり承認された
評議員会		
実施日 出席者数	主な議題	結果
6月24日(金) 15名	1.令和3年度事業報告及び収入支出決算(案)について 2.理事及び監事の選任について 3.経理規程の改正について	1.原案どおり承認された 2.次の通り選任された 理事 守屋 大介(区福祉保健センター担当部長) 監事 相原 陽子(千丸台保育園) 3.原案どおり承認された
9月27日(火) 19名	1.補正予算(案)について	1.原案どおり承認された
3月24日(金) 13名	1.令和4年度補正予算(案)について 2.本会保有債券の償還期限前売却について 3.令和5年度事業計画及び予算(案)について	1.原案どおり承認された 2.原案どおり承認された 3.原案どおり承認された
監事監査		
実施日 出席者数	主な議題	結果
5月26日(木) 3名	1.事業執行状況について 2.経理状況及び財産状況について	1.適正であると認められた 2.適正であると認められた

(2) 各種部会・分科会の開催		
当事者部会		
5月21日(土) 4名	1.障害者週間キャンペーンについて 2.当事者部会の持ち方について	1.今年度実施することを決定し、詳細は後日決めることとした。 2.区民まつりで障がい理解を啓発する案が出され、ポッチャ体験を行うこととした。
7月2日(土) 4名	1.区民まつりの実施について 2.障害者週間キャンペーンについて	1.区民まつり実行委員会の報告。 区民まつり区社協ブースでポッチャを行う事が承認された。 聴覚障害者協会が手話ダンスを披露する。 2.障害者週間キャンペーンをイオンで実施出来ることになったと報告。
10月8日(土) 3名	ボランティア市民活動分科会と合同開催 1.区民まつりの実施について 2.次期役員を選出について	1.ボランティア分科会の協力を得て、区民まつりの区社協ブースでポッチャ体験会を実施することとした。当日の役割分担とポッチャルールの説明会を開催した。 2.次期正副会長・理事候補者・区社協広報委員の選出を行った。 部会長 関塚 龍補(区視覚障害者福祉協会) 副部会長 大羽 更明(たちばな会) 理事候補者 関塚 龍補(区視覚障害者福祉協会) 広報委員 菅沼 久美子(ハートの会)
ボランティア市民活動分科会		
実施日 出席者数	主な議題	結果
7月13日(水) 9名	1.情報交換 2.研修会 講義「ヤングケアラーについて」 講師：横浜ヤングケアラーヘルプネット	1.出席団体の情報交換を行った 2.横浜市社協の福祉ボランティア・市民活動部会主催研修をオンラインで視聴
10月8日(土) 13名	当事者団体部会と合同開催 1.区民まつりに関して 2.障がい者週間キャンペーンについて	1.当日の出展内容とスケジュールを確認。ポッチャのレクチャー。 2.街頭キャンペーンの確認。
3月22日(水) 10名	1.区社協役員候補者の推薦並びに、分科会長・副分科会長、各種委員等の選出について 2.今年度の振り返り 3.次年度の分科会について	1.次のとおり承認された。 ①区社協「ボランティア市民活動分科会」正副分科会長 分科会長：穴原 豊(テンダーよかボラ) 副分科会長：秋元 秘路子(ピアわらべ) 副分科会長：赤坂 厚子(NPO法人 ちゃっと) ②区社協役員 理事：穴原 豊(テンダーよかボラ) ③区社協広報紙「社協ほどがや」編集委員 播口 輝二(和田・釜台地区「ふれあい型食事サービス」ボランティアの会) ④社協「福祉ボランティア・市民活動部会」委員 赤坂 厚子(NPO法人 ちゃっと) 2.資料に基づき振り返りを行った。 3.話し合いを行った。

民生委員児童委員分科会（保土ヶ谷区民生委員児童委員協議会）		
3月15日(水) 20名	1.正副分科会長の選出について 2.区社協理事・監事候補者の推薦について 3.区社協評議員候補者の推薦について 4.区社協広報編集委員の選出について 5.日本赤十字社 保土ヶ谷区地区委員会 監事・委員の選出について	1. 次のとおり選出された 分科会長 中村 好美（新桜ヶ丘） 副分科会長 田中 澄子（常盤台） 2. 次のとおり選出された 理事候補者 中村 好美（新桜ヶ丘） 監事候補者 田中 澄子（常盤台） 3. 次のとおり選出された 野一色 由美子（保土ヶ谷） 今村 悦子（権太坂境木） 荒川 朱美（岩間） 4. 次のとおり選出された 斎藤 誠（上新） 5. 3名選出された 監事 中村 好美（新桜ヶ丘） 委員 田中 澄子（常盤台） 委員 野一色 由美子（保土ヶ谷）
地区社協分科会（再掲：P1）		
実施日 出席者数	主な議題	結果
5月27日（金） 41名	1.令和4年度保土ヶ谷区社会福祉協議会 事業計画について 2.令和4年度地区社協分科会等の進め方 について 3.第4期ほっとなまちづくりについて 4.意見交換「令和4年度の地区社協取組状 について」	1.資料に基づき事務局より説明 2.資料に基づき事務局より説明 3.資料に基づき事務局より説明 4.各地区の状況について全体で共有した
9月28日（水） 37名	1.ほっとなまちづくりフォーラム～第39回 保土ヶ谷区社会福祉大会～について 2.ほっとなまちづくり地区別計画振返り について 3.令和4年度保土ヶ谷区社会福祉協議会 世帯賛助会費の募集について 4.研修会「よこはまの地区社協全体会 2021-2022」（動画視聴）	1.資料に基づき事務局より説明 2.資料に基づき事務局より説明と依頼 3.資料に基づき事務局より説明と依頼 4.実践事例と講師による講演内容を 全体で視聴した
11月22日(火) 37名	1.地区社協のてびきについて（ミニ研修会） 2.保土ヶ谷区アクションプランについて 3.令和4年度地区社協助成金・補助金につ いて 4.地区の取組事例紹介・グループワーク 「コロナ禍で工夫して取り組んだ活動」	1.てびきを活用し事務局から説明し、 地区社協の役割等を全体で再確認した 2.資料に基づき事務局より説明した 3.資料に基づき事務局より説明・依頼した 4.2つの地区から事例報告し、その後 グループワークを行った
3月9日（木） 45名	1.保土ヶ谷区社協の次期役員等候補者の 選出について	1. 互選により次のとおり選出された 理事候補者・地区社協分科会分科会長 中西 義宣（中央地区社協） 評議員候補者・地区社協分科会副分科会長 金子 久夫（上新地区社協） 広報紙「社協ほどがや」編集委員： 根本 和治（保土ヶ谷中地区社協）

	2.令和5年度地区社協への助成金について 3.地区社協状況書作成に伴うヒアリングについて 4.情報交換・グループワーク 「地域活動の仲間を見つける、理解者を増やす」	2.資料に基づき事務局より説明・依頼した 3.資料に基づき事務局より説明・依頼した 4.テーマに基づき、グループワークと発表を行った
--	---	--

(3) 各種委員会の開催

ボランティアセンター運営委員会

実施日 出席者数	主な議題	結果
3月13日（月） 11名	1.相談・コーディネート状況について 2.福祉教育実施状況について 3.善意銀行の運営について 4.令和5年度事業計画について	1.活動状況報告 2.活動状況報告 3.案のとおり承認された 4.案のとおり承認された

評議員選任・解任委員会

実施日 出席者数	主な議題	結果
6月8日（木） 3名	1.評議員の選任について	1.次のとおり選任された 金子 強（地域振興課長） 近藤 友和（高齢・障害支援課長）

社協ほどがや編集委員会

実施日 出席者数	主な議題	結果
5月12日（木） 7名	1.社協ほどがや49号の振返りについて 2.社協ほどがや今年度の発行予定・特集ページについて	1.意見交換を実施し振り返りを行った。 2.特集ページの内容について意見を伺い、合意した。

(4) 財政基盤の強化

世帯賛助会費

地域の福祉活動を支援するために地域の方々、自治会町内会の協力により賛助会費を募集した。

実績額11,563,038円 ※詳細別掲（P20：別表1）

善意銀行預託金配分事業

寄付金品の預託を受け、ボランティアセンター運営委員会にて配分案を決定した。

※寄託・配分内容 別掲（P21：別表2）

1.寄付金品	預託金712,515円	18件	寄託品	8件
2.配分金	ふれあい助成金			500,000円
	学生・子ども家庭食支援事業			599,254円

(5) 窓口相談対応、ニーズの事業化

ニーズの事業化

ご意見箱を設置し、寄せられた意見、要望、提案、苦情等に対して回答・対応できる体制を整えた。

ご意見箱の設置場所：区福祉保健活動拠点通路壁面

提案用紙の設置場所：区福祉保健活動拠点内各室（全8か所）

ご意見箱受付件数：2件

内容：①外国籍の方も利用するため、トイレの緊急ボタンや流すレバーを英語表記として欲しい。

②自転車やバイクの駐輪が認められていない旨、ルールの再周知をして欲しい。

(6) 苦情解決制度・情報公開制度

苦情解決制度・情報公開制度

申立件数 0件

(7) 福祉保健活動拠点の運営

福祉保健活動拠点の運営

ボランティアグループ、障がい者団体等、地域における自主的な福祉保健活動を行っている団体に対して、部屋や印刷機等備品貸し出しを行い、活動の場を提供した。

なお、複合施設「かるがも」が20周年を迎えることを記念して「かるがも20周年フェスティバル」を「かるがも」内の他団体と一緒に開催した。

①利用状況

登録団体： 129団体（令和5年3月末）

利用件数： 3,242件

（単位；件）

(内訳)	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	団体交流室	85	85	77	83	39	82	97
	多目的研修室他	207	206	206	198	181	215	209
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	総計
	団体交流室	77	79	74	77	91	946	3,242
	多目的研修室他	190	177	166	164	177	2,296	

②利用調整会議

- ・実施日 3月14日（火）
- ・場 所 多目的研修室Ⅰ・Ⅱ
- ・参加団体数 32団体
- ・内 容 福祉保健活動拠点利用にあたっての留意事項、ボランティア保険について、保土ヶ谷ほっとなまちづくりについて、情報交換・懇談

③かるがも20周年フェスティバル

- ・実施日 11月13日（日）
- ・場 所 複合施設「かるがも」全館
- ・内 容 作品展示、情報提供、近隣施設等による販売・展示、体験コーナー等

(8) 福祉関係5団体の事務局運営、事務局体制の整備

福祉関係5団体の事務局運営

福祉関係団体の事務局を運営し、連携の強化による地域福祉の推進に努めた。

- ・神奈川県共同募金会保土ヶ谷区支会
- ・日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部保土ヶ谷区地区委員会
- ・保土ヶ谷保護司会
- ・保土ヶ谷区遺族会
- ・保土ヶ谷区更生保護女性会

研修の実施・参加、交流

職員を様々な外部研修等に派遣し、また内部で伝達研修を行い、資質の向上に努めた。

令和4年度 世帯賛助会費実績・地区社協還元額一覧（別表1）

実績総額 11,563,038 円

（単位：円）

No.	地区社協名	①世帯数 (R4.10.1現在)	②算定世帯数 (①×90%)	③目安額 (@250×②)	④実績額	⑤還元額
1	保土ヶ谷	3,454	3,106	776,500	577,493	347,000
2	保土ヶ谷南部	2,651	2,384	596,000	255,740	154,000
3	保土ヶ谷中	2,262	2,035	508,750	298,900	180,000
4	保土ヶ谷東部	8,415	7,568	1,892,000	1,325,156	796,000
5	保土ヶ谷西部	3,900	3,506	876,500	576,106	346,000
6	新桜ヶ丘	2,530	2,276	569,000	423,464	255,000
7	権太坂境木	3,314	2,978	744,500	715,950	430,000
8	岩井町原	1,982	1,782	445,500	227,810	137,000
9	岩間	7,775	6,993	1,748,250	876,625	526,000
10	中央	7,652	6,884	1,721,000	978,605	588,000
11	中央東部	4,691	4,219	1,054,750	783,125	470,000
12	和田・釜台	3,035	2,731	682,750	354,475	213,000
13	上星川	2,605	2,344	586,000	244,912	147,000
14	常盤台	3,028	2,722	680,500	501,110	301,000
15	川島東部	3,270	2,943	735,750	477,786	287,000
16	仏向	5,327	4,793	1,198,250	863,653	519,000
17	川島原	2,709	2,433	608,250	325,280	196,000
18	西谷	3,209	2,886	721,500	323,750	195,000
19	上新	1,842	1,657	414,250	388,800	234,000
20	笹山	1,130	1,017	254,250	100,181	61,000
21	千丸台	1,100	990	247,500	225,382	136,000
22	上菅田	4,024	3,618	904,500	718,735	432,000
合計		79,905	71,865	17,966,250	11,563,038	6,950,000

賛助会費実績額 11,157,713円 (3/16現在) 405,325円 (3/17～) 11,563,038円 (実績合計)

（単位：円）

	第1回還元金	第2回還元金	合計
(1)地区社協還元金	6,705,000	245,000	6,950,000
(2)区社協活動費	4,452,713	160,325	4,613,038

※各地区社協へは1,000円未満を切り上げて還元しています。（賛助会費実績の60%）

※令和5年4月25日までの納入分を本実績額としています

善意銀行寄託金品内訳（別表2）

寄託金（計18件）

¥712,515

寄託品（計8件）

1. 社会福祉全般のために（計12件） ¥311,075

No.	預託者（敬称略）	金額
1	匿名	¥3,381
2	匿名	¥1,000
3	峰沢町岡沢町自治会	¥10,944
4	法泉 広子	¥100,000
5	匿名	¥1,265
6	メモリーズ株式会社横浜支社	¥3,330
7	匿名	¥120,000
8	一般社団法人保土ヶ谷青色申告会 会長 平井武男	¥15,000
9	匿名	¥10,000
10	湯澤 英夫	¥5,000
11	匿名	¥11,155
12	保土ヶ谷区女性団体連絡協議会	¥30,000
小計		¥311,075

寄託品（計8件）

No.	預託者（敬称略）	内容
1	グランコーヨー株式会社	はいはいマット、ベンチ、車いす、カート
2	永山 叡	文房具
3	一般財団法人ポケモン・ウィズ・ユア財団	ペーパークラフト・色鉛筆
4	捧 美雪	新生児おむつ
5	匿名	洗剤、殺虫剤、入浴剤、除菌ジェル
6	WE21ジャパンほどがや	マスク
7	匿名	こども用マスク
8	匿名	クリスマスケーキ

2. 児童福祉のために（計4件） ¥101,440

No.	預託者（敬称略）	金額
1	匿名	¥3,000
2	匿名	¥15,000
3	匿名	¥53,439
4	幸せ倶楽部 笑顔	¥30,001
小計		¥101,440

3. 障害福祉のために（計0件）

4. その他(食支援)のために（計2件） ¥300,000

No.	預託者（敬称略）	金額
1	匿名	¥100,000
2	匿名	¥200,000
小計		¥300,000

保土ケ谷区ふれあい助成金助成団体および助成額内訳（別表3）

事業助成配分団体 156件

助成総額 12,150,000円

I 要援護者支援区分

1) 集いの場

NO.	区分	団体名	交付額
1	A	動物愛護福祉支援協会（地域コミュニティカフェニャトワン）	¥400,000
2	A	特定非営利活動法人かみすげた茶屋	¥400,000
3	A	福祉ふれあいサロン	¥120,000
4	A	地域交流ボランティアセンター	¥150,000
5	A	ルネクラブ	¥300,000
6	A	新桜ヶ丘住宅住民支え合いグループ	¥80,000
7	A	明寿会	¥80,000
8	B	ほどがや無料塾	¥300,000
9	D	特定非営利活動法人 ピアわらべ	¥120,000
10	D	常盤台地区高齢者交流会食会	¥50,000
11	D	こどもの居場所 こどもの遊び場	¥120,000
12	D	健康長寿体操むつみ	¥44,000
13	D	子育てサロン「おもちゃばこ」	¥96,000
14	D	シニアサロンやまびこ	¥50,000
15	D	いきいき体操サークル	¥40,000
16	D	NPO法人ちゃっと	¥120,000
17	D	ハッピーくぬぎ台 体操教室	¥65,000
18	D	ささやまみんなde食堂実行委員会	¥120,000
19	D	体操グループ“ハッピー”	¥95,000
20	D	生き生きシニアの会（カフェ・グリーン）	¥50,000
21	D	たすけあいグループ「ひだまり」	¥120,000
22	D	特定非営利活動法人A.S.C.C	¥120,000
23	D	おしゃべりサロン（みんなで歌おう会）	¥50,000
24	D	Gスマイル	¥50,000
25	D	東戸塚グリーンタウン体操教室	¥80,000
26	D	スポーツ愛好会	¥80,000

27	D	カラオケ愛好会	¥50,000
28	D	カラオケサークルサロンパンジー	¥50,000
29	E	ほのぼの会	¥50,000
30	E	地域拠点 りあん	¥80,000
31	E	コンフォール仏向町健康体操の会	¥40,000
32	E	星川3丁目サロン はなみずき	¥80,000
33	E	星の丘ビューシティ健康体操	¥80,000
34	E	ヒルズほっこり茶房	¥80,000
35	E	ときわ虹の会	¥80,000
36	E	サロン de 芙蓉ヶ丘	¥80,000
37	E	ときわの森体操教室	¥50,000
38	E	ミュージック脳トレ夢	¥80,000
39	E	チューリップ	¥60,000
40	E	特定非営利活動法人よこはま成年後見つばさ	¥80,000
41	E	笑話会	¥80,000
42	E	オレンジサロン	¥80,000
43	E	ボランティア団体星の輪	¥80,000
44	E	ひまわりの会	¥80,000
45	E	だるま食堂	¥80,000
46	E	デイ・ケアーすみれ	¥80,000
47	E	よつ葉会	¥80,000
48	E	人形劇団はまなす	¥80,000
49	E	歌声広場ハーモニーささやま	¥70,000
50	E	みんなでキッチン	¥80,000
51	E	ふれあい健康体操	¥80,000
52	E	ピッコロ	¥80,000
53	E	権太坂境木栄寿会	¥80,000
54	E	サロン・ふらっと109	¥80,000
55	E	和田・釜台地区ミニデイサービスの会	¥80,000
56	E	ふれあいサロン	¥40,000
57	E	ほっとなサロン	¥80,000
58	E	わんぱく隊	¥80,000

59	E	横浜友の会 ふたばぐみ	¥80,000
60	E	おしゃべりのたまり場	¥80,000
61	E	子育てサロンさくらんぼ	¥50,000
62	E	子育てサロンポテト	¥80,000
63	E	まぜごはん	¥80,000
64	E	健康麻雀初音が丘	¥80,000
65	E	子育てサロンおひさま	¥80,000
66	E	ふれあい型食事サービスボランティアの会	¥80,000
67	E	肉体美改造計画	¥80,000
68	E	保土ヶ谷中地区社協 葵の会	¥80,000
69	F	子育てサロンたんぽぽ	¥50,000
70	F	ほどがや保育ボランティアかるがもキッズ	¥50,000
71	F	ゆずりはR-3	¥40,000
72	F	先輩ママによる赤ちゃん教室 ふふ	¥10,000
73	F	ゆうゆうサロン	¥50,000
74	F	ネーブルカフェ	¥50,000
75	F	プレママ・プレパパ塾	¥50,000
76	F	新井小学校文化スポーツクラブ学校開放部会	¥50,000
77	F	ひまわり	¥50,000
78	F	子育てサロンスマイル	¥50,000
79	F	木曜会	¥50,000
80	F	ボランティアグループひまわり	¥50,000
81	F	上菅田ふれあいランチ	¥50,000
82	F	ふれあいサロン上菅田	¥50,000
83	F	ふれあいルームにこちゃん広場	¥50,000
84	F	NPO法人パオパオの木	¥50,000
85	F	ほっとするサロン・上星川	¥50,000
86	F	子育てサロンシュークリーム	¥50,000
87	F	マザーズリンクいわい	¥50,000
88	F	コープふれあいの会	¥50,000
89	F	ミニデイサロン・上星川	¥50,000
90	F	一・二・三会	¥50,000

91	F	富士見台小 子育てサロン	¥50,000
92	F	こりす	¥40,000
93	F	わくわく食堂	¥40,000
94	F	学童保育 たけのこクラブ	¥40,000
95	G	けやきクラブ	¥40,000
96	G	サロン美化清掃	¥40,000
97	G	サロン花きずな	¥40,000
98	G	特定非営利活動法人 居場所 そら	¥40,000
小計			¥7,780,000

2) 家事・生活支援活動

99	A	特定非営利活動法人 よこはまチャイルドライン	¥400,000
100	A	地域ふれあい収集運営委員会	¥250,000
101	A	明神台買物クラブ	¥80,000
102	C	千丸台地区社会福祉協議会 在宅応急支援	¥90,000
103	D	上星川地区支え合いの会	¥80,000
104	D	アシスト岩崎	¥50,000
105	D	仏向HEROS	¥50,000
106	E	オリーブの会	¥50,000
小計			¥1,050,000

3) 配食活動

107	B	千丸台地区社会福祉協議会 配食サービス	¥95,000
108	D	特定非営利活動法人 新桜ヶ丘パートナー「さくら草」	¥160,000
109	D	あじさいの会 (保土ヶ谷中地区配食グループ)	¥85,000
110	D	法泉アクティブサポート	¥80,000
111	E	仏向Y・I配食	¥50,000
112	E	中央地区配食ボランティア	¥80,000
113	E	新井町 お茶葉会	¥80,000
114	E	キッチン友の会	¥80,000
115	E	和田・釜台地区配食サービス	¥80,000
小計			¥790,000

4) 送迎活動

116	A	特定非営利活動法人 コアラ東戸塚	¥350,000
117	B	仏向ふれあいワゴン	¥300,000
118	B	仏向地区社会福祉協議会 送迎支援サービス	¥200,000
119	C	千丸台地区社協 外出支援	¥200,000
小計			¥1,050,000

II 障害児者支援区分

1) 障害児者支援活動

120	D	Bホップダンス	¥60,000
121	E	市精連かるがも杯 将棋・囲碁大会実行委員会	¥40,000
122	E	テンダーよかボラ	¥40,000
小計			¥140,000

2) 宿泊・日帰りハイク

123	A	NPO法人きてん トラック	¥50,000
124	A	一般社団法人 地域作業所 第2はなかご	¥50,000
125	A	一般社団法人 はなかご 第1はなかご	¥50,000
126	A	NPO法人ふれんど45 サンハイツ狩場	¥50,000
小計			¥200,000

3) 視覚・聴覚障害者支援

127	A	さくらの会	¥50,000
128	A	手話サークル ほしの会	¥50,000
129	A	保土ヶ谷区点訳サークル 「虹」	¥50,000
130	A	手話サークル もみじ会	¥50,000
131	A	保土ヶ谷録音グループ 「はし」	¥50,000
小計			¥250,000

III福祉のまちづくり区分

132	A	ほどがやおもちゃ再生館	¥40,000
133	A	ふじの会	¥40,000
134	A	保土ヶ谷区食生活等改善推進員会	¥40,000
135	A	そこそこ手伝い隊	¥40,000
136	A	若葉会	¥40,000
137	A	ボランティアグループ趣味の会	¥40,000
138	A	ちくちく	¥40,000
139	A	リズム♪	¥40,000
140	A	やまゆりの会	¥40,000
141	A	きつつき仲間	¥40,000
142	A	傾聴ボランティアグループ「あのね」	¥40,000
143	A	サークル星の子	¥40,000
144	A	楽遊園	¥40,000
145	A	保土ヶ谷ファミリーハイツ 災害時あんしんボランティア	¥40,000
146	A	ハロースタンプ	¥40,000
147	A	ほどがや えかたり～べ	¥40,000
148	A	ユーアイグループ	¥40,000
149	A	ママ音楽ユニット♪ショコラッティ♪	¥40,000
150	A	ブルーポケット	¥30,000
151	A	なるこ会	¥30,000
152	B	NPO法人中途障害者地域活動センターほどがやカルガモの会	¥30,000
153	B	保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク	¥30,000
154	B	おれんじ・ドンキー	¥30,000
		小計	¥870,000

IV健康増進区分

155	A	ひまわり体操くらぶ	¥10,000
156	A	じょうしん健康ウォーキング	¥10,000
		小計	¥20,000